

授業概要

本講義では、法人税法の基本的な知識を修得することにより、企業活動と法人税との関係について学修すること、法人税法と会計学の関係を明らかにすること、そして法人税に関する実践的な内容を講義することを目的とする。このほか、時事問題についても触れることにする。

授業計画

第 1 回	法人税とは何か
第 2 回	法人税の納税義務者
第 3 回	法人税の課税所得
第 4 回	法人税と企業会計との関係
第 5 回	法人税の課税標準その 1－益金の原則
第 6 回	法人税の課税標準その 2－無償取引と低額取引
第 7 回	法人税の課税標準その 3－原価
第 8 回	法人税の課税標準その 4－費用
第 9 回	法人税の課税標準その 5－損失
第 10 回	確定決算主義と損金経理
第 11 回	法人税の制度設計その 1－申告納税制度と青色申告制度
第 12 回	法人税の制度設計その 2－同族会社
第 13 回	法人税の課税所得の計算
第 14 回	法人税額の計算
第 15 回	総まとめ
第 16 回	期末試験

到達目標

1. 企業の経済活動と法人税法の基礎を身に付けることを目標とする。
2. 企業会計と法人税法の関係を整理すること。

履修上の注意

教科書を使用せず、毎回レジュメを配布するのでそれをファイリングして毎回の授業に持参すること。また、講義の後半 30 分に、復習を兼ねて課題レポートを作成・提出してもらおう。これを出席票の代わりにする。

予習復習

原則として、予習は不要である。予習の必要がある場合には事前に知らせる。毎回の授業の後、必ず復習することが求められる。

評価方法

毎回の課題レポート（5 回以上欠席した場合、単位認定しない）30%
 期末試験 70%

テキスト

テキストは使用せず、毎回レジュメを作成して配布する。この他、参考資料を配布する場合がある。